



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月10日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 幸治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貴 正義 TEL 06-4300-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	18,208	△2.2	294	—	491	—	293	—
27年3月期第1四半期	18,617	5.1	△330	—	△221	—	△384	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 148百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △1,165百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.80	—
27年3月期第1四半期	△3.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	108,683	61,123	55.8
27年3月期	107,476	61,242	56.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 60,612百万円 27年3月期 60,711百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	△1.8	400	—	700	—	500	△91.3	4.76
通期	71,000	1.2	700	—	1,200	—	900	△83.4	8.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	111,452,494株	27年3月期	111,452,494株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	6,473,111株	27年3月期	6,470,397株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	104,980,956株	27年3月期1Q	104,994,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益は総じて改善傾向にあったため、設備投資の持ち直しの動きが見られ、個人消費も雇用・所得環境の改善傾向が続いたため、景気の力強さは欠くものの、緩やかな回復基調が持続しました。しかしながら、円安による物価上昇や、欧州金融不安に加え、中国およびその他新興国経済の減速への警戒感等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループでは中期経営計画3カ年の2年目を迎えております。前中期経営計画のビジョンであった「世界のYAMAMURAへ一歩と技術を伝えたい」は継承し、昨年迎えた創業100周年を超えて持続的成長を維持するために、アジアそして世界に誇れる“YAMAMURA”ブランドの確立を目指し、引き続き「事業構造改革」と「企業風土改革」の二つの改革に取り組んでおります。

今年度は山村グループにおいて、「反転攻勢」をキーワードとして掲げており、この中期経営計画を着実に実行することにより、グループ一体となって早期の業績改善を果たしていく所存であります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

## ① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、対処すべき課題の1つであった、秦皇島方圓包装玻璃有限公司(Yamamura Glass Qinhuangdao 以下、「YGQ」という。)の中国国外への販路確立により出荷が増加し、セグメント売上高は12,759百万円(前年同期比5.8%増)と増収となりました。国内燃料価格が安定したことや販売価格改定が浸透したこと、加えてYGQの損益が、増収効果や生産性向上等により改善したこともあり、セグメント利益は101百万円(前年同期は△467百万円)と黒字に転換しました。

## ② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、前期に実施しましたペットボトル事業からの撤退の影響により、セグメント売上高は1,756百万円(前年同期比35.3%減)と大幅な減収となりました。一方、不採算であったペットボトル事業からの撤退による労務費や外注費等の減少があり、また、プラスチックキャップ事業においては、原料価格が安定したこと等により、セグメント利益は32百万円(前年同期比51.0%増)と増益となりました。

## ③ 物流関連事業

物流関連事業では、既存営業所の取り扱い物量の減少や不採算営業所からの撤退等により、セグメント売上高は2,592百万円(前年同期比5.2%減)と減収となりました。不採算営業所の損益改善対策として、種々の改善に取り組んだ効果はありましたが、取引条件の改定が一部未更改であったことに加え、要員確保のための人件費が増加したこと等により、セグメント利益は30百万円(前年同期比8.4%減)と減益となりました。

## ④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、山村フォトニクス株式会社の主力製品である光通信用部品を中心に出荷増となり、引き続き堅調に推移しましたが、当社ニューガラスカンパニーのスマートフォン向け電子部品用粉末ガラスの出荷が減少した結果、セグメント売上高は1,099百万円(前年同期比0.9%減)と減収となりました。セグメント利益は、販売品種構成差による利益率の低下等により78百万円(前年同期比22.8%減)と減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は18,208百万円(前年同期比2.2%減)と減収となりましたが、連結営業利益は294百万円(前年同期は△330百万円)となりました。また、持分法による投資利益は262百万円(前年同期比131.1%増)となり、連結経常利益は491百万円(前年同期は△221百万円)となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は293百万円(前年同期は△384百万円)となり、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全てが改善され、黒字に転換しました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期における第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、平成27年5月14日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成27年8月10日)公表の「平成28年3月期第2四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期業績予想につきましては、下半期において国内燃料価格が当初予想より上回ると見込まれるため、前回予想を修正しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)および事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,843	14,866
受取手形及び売掛金	19,947	21,310
商品及び製品	7,362	6,515
仕掛品	269	276
原材料及び貯蔵品	2,443	2,670
その他	1,307	1,239
貸倒引当金	△21	△21
流動資産合計	46,152	46,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,402	8,751
機械装置及び運搬具（純額）	7,850	8,417
工具、器具及び備品（純額）	660	645
土地	10,334	10,334
建設仮勘定	1,492	1,000
有形固定資産合計	28,740	29,149
無形固定資産		
のれん	2,126	2,088
その他	2,009	1,973
無形固定資産合計	4,136	4,062
投資その他の資産		
投資有価証券	4,484	4,698
関係会社株式	22,278	22,280
退職給付に係る資産	1,198	1,215
その他	515	446
貸倒引当金	△29	△28
投資その他の資産合計	28,447	28,612
固定資産合計	61,323	61,824
資産合計	107,476	108,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,075	8,941
短期借入金	11,426	12,214
1年内償還予定の社債	1,100	1,100
未払法人税等	198	115
賞与引当金	416	303
役員賞与引当金	15	2
事業構造改善引当金	50	22
その他	4,475	4,811
流動負債合計	25,758	27,511
固定負債		
社債	400	350
長期借入金	13,641	13,241
環境対策引当金	154	131
退職給付に係る負債	3,034	3,033
その他	3,245	3,291
固定負債合計	20,475	20,047
負債合計	46,234	47,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	27,023	27,054
自己株式	△1,227	△1,228
株主資本合計	57,170	57,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,398	1,539
繰延ヘッジ損益	△205	△192
為替換算調整勘定	3,139	2,832
退職給付に係る調整累計額	△791	△769
その他の包括利益累計額合計	3,540	3,410
非支配株主持分	530	511
純資産合計	61,242	61,123
負債純資産合計	107,476	108,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	18,617	18,208
売上原価	15,752	14,885
売上総利益	2,865	3,322
販売費及び一般管理費	3,195	3,028
営業利益又は営業損失(△)	△330	294
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	49	39
持分法による投資利益	113	262
その他	135	148
営業外収益合計	300	452
営業外費用		
支払利息	106	133
租税公課	40	44
その他	43	77
営業外費用合計	191	255
経常利益又は経常損失(△)	△221	491
特別利益		
固定資産売却益	8	-
特別利益合計	8	-
特別損失		
固定資産廃棄損	29	22
特別損失合計	29	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△242	468
法人税、住民税及び事業税	125	83
法人税等調整額	64	107
法人税等合計	190	190
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△433	277
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△48	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△384	293



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△433	277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	141
繰延ヘッジ損益	5	13
為替換算調整勘定	△279	△24
退職給付に係る調整額	11	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△583	△260
その他の包括利益合計	△732	△129
四半期包括利益	△1,165	148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,092	163
非支配株主に係る四半期包括利益	△73	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,059	2,714	2,734	1,109	18,617	—	18,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	393	2,985	1	3,380	△3,380	—
計	12,059	3,107	5,719	1,111	21,998	△3,380	18,617
セグメント利益 又は損失 (△)	△467	21	33	101	△311	△18	△330

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去等32百万円、その他の調整△50百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性がないため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,759	1,756	2,592	1,099	18,208	—	18,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	113	2,615	1	2,730	△2,730	—
計	12,759	1,870	5,207	1,101	20,938	△2,730	18,208
セグメント利益	101	32	30	78	242	51	294

(注) 1. セグメント利益の調整額51百万円には、セグメント間取引消去等27百万円、その他の調整24百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性がないため記載を省略しております。